



〇〇もんずら

奥島教育長コラム No.27 2025. 6. 1

おべだふりの反省

ジュラ紀って聞いたことありますか？東通村のもっとも古い地層は、1億5千万年前頃のジュラ紀の地層です。東通村の祈水というお酒はジュラ紀の地層から湧き出している水を使っています。ジュラ紀と言うと恐竜の時代です。

ジュラ紀の恐竜人気ベスト5は1位：ティラノサウルス 2位：スピノサウルス 3位・・・・・・・・

数年前、東通村への関心を高めたいと、ある交流会で話した内容。ジュラ紀に東通村が存在し、そこに恐竜がいたかのような説明。人気ベスト5、実はジュラ紀ではなく白亜紀の恐竜たちでした。全くのおべだふりだったことに気づき、深く深く反省して少し調べました。

今さらではありますが「ジュラ紀って何だろう」

地球の誕生は46億年前。生き物は35億年前に誕生し、最初の30億年は海の中だけにいました。やがて植物が陸へ上がり、陸上動物が現れ、2億5千万年前と2億年前生物の大量絶滅がありました。この後がジュラ紀の始まりです。ジュラ紀の始め、超大陸パンゲアが分裂し二つの新しい大陸ができました。海が広がり、気温は高いまま、陸と海的环境にさまざまな違いが出たことにより、新しい種類の植物や動物が誕生しました。恐竜時代の到来です・・・。

【参照：『こども大図鑑 恐竜』河出書房新社】

ジュラ紀中・後期（1億7800万～1億4600万年前）東通村は大サンゴ礁の海でした。水温は年平均20度以上、水深40m以下、光が届く澄んだ海水、プランクトンたくさん。鮮やかないろどりのサンゴが海面下に広く分布し、澄んだ海水中を色鮮やかな熱帯魚が泳ぎ、サンゴ礁にはウニ、有孔虫、石灰藻や様々な貝類などが生息する海の生物の天国であった！と思われれます。現在の地球上ではオーストラリア東岸のグレートバリアリーフに比べられる大サンゴ礁が存在したことが推測されます。尻屋崎、尻労、岩屋、桑畑山、片崎山の基盤石から発見された六放サンゴ類の化石から、ジュラ紀に海にいたサンゴと確認されました。【参照：『東通村史』】



このジュラ紀最後期に海のプレートが大陸に沈み込み、はぎ取られた海底堆積物（プランクトンの遺骸や泥や砂）が陸に付け加わっていき、日本列島の土台（基盤）が作られていったと考えられています。下北最古の地層！となりました。【下北ジオパーク資料より】

化石がその時代や環境を教えてくれる！！！調べてみて前よりはおべだと思います。